いわて復興だより

がんばろう！岩手　つながろう！岩手

三陸復興

第 111 号

平成 28 年 8 月 15 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思います。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

2016 希望郷 いわて国体まで 47 日　2016 希望郷 いわて大会まで 68 日

「マンガでつな GO 東北」、“コミックトレイン” 運行！ 花巻市～釜石市

一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本雑誌協会、一般財団法人日本出版クラブ、出版関連諸団体によって設立された「<大震災>出版対策本部」（東京都）と JR 東日本仙台支社・盛岡支社が連携し、人気漫画キャラクターが車両にラッピングされた“コミックトレイン”を期間限定で運行させました。

これは、東日本大震災津波からの復興に取り組む被災三県において、マンガを愛する人々に笑顔と元気を届けるため、「マンガでつな GO 東北」プロジェクトの一環とし、観光面からの復興支援と地域活性化を目的として行われたものです。

同列車は 3 両編成のお座敷列車で、車体には「ONE PIECE（ワンピース）」、「ダイヤの A（エース）」、「名探偵コナン」それぞれの主人公など人気キャラクターが大きく描かれており、平成 28 年 7 月 31 日（日）には、JR 釜石線（花巻駅～釜石駅）で往復運行。乗車した約 80 名は、車内で掲載誌の試し読みや、塗り絵、アニメ DVD の上映を楽しみました。

また、釜石市のシープラザ釜石で同列車の運行にあわせて開催された「特別企画展」では、マンガの複製原画 350 点や、メッセージ入りサイン色紙 67 点が展示され、多くのアニメファンが来場しました。

釜石駅に到着した“コミックトレイン”

ラッピングされた“コミックトレイン”の車体

「特別企画展」を観覧する親子

「未来（あした）への 1000km 縦断リレー 2016」開催 沿岸各地

平成 28 年 7 月 24 日（日）から 8 月 7 日（日）の間、青森から東京までを、ランニングと自転車のリレー形式でたすきをつなぐ「未来（あした）への道 1000km 縦断リレー 2016」（主催：東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団）が、開催されました。

“復興の地を、走ろう。復興とともに走ろう。未来に向かって走ろう。”のスローガンのもと、東日本大震災津波の記憶の風化を防ぎ、全国からの参加者と被災地の人たちとの絆を深めることを目的に、全国から募集した約 1,100 人の市民ランナーとゲストランナーが参加。

平成 28 年 7 月 27 日（水）に岩手県宮古地区合同庁舎（宮古市五月町）で行われたスタート式では、シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんらが集結し、参加者を激励しました。

青森県庁からスタートした同リレーは、全長約 1,280 キロ、163 区間にもおよび、15 日間かけて東京都立上野恩賜公園（台東区）にゴールしました。

宮古市で行われたスタート式での記念撮影

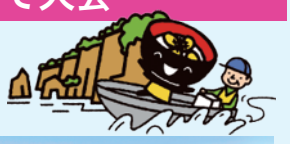
広げよう 感動。伝えよう 感謝。 2016 希望郷 いわて国体　2016 希望郷 いわて大会

デモンストレーションスポーツ ▶ マレットゴルフ

会期 ▶ 平成 28 年 10 月 9 日（日）　会場 ▶ 田野畑村マレットゴルフ場

岩手県下閉伊郡田野畑村明戸 158 番地

お問い合わせ ▶ 田野畑村教育委員会事務局 ☎ 0194-34-2226



● 田野畑村 INFORMATION >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

「北山崎」は、太平洋の荒波洗うダイナミックな海岸線が約 8 ㎞にもわたり続く景勝地で、全国観光資源評価の「自然資源・海岸の部」で最高ランクの特 A 級に格付けされています。展望台や遊歩道が整備されており、園地内のビジターセンターでは、ハイビジョンシアターによる解説、自然や歴史を紹介する展示を楽しむことができます。

景勝地 北山崎

普代浜園地「キラウミ」開所 !! 新しい観光拠点に期待

普代村

平成 28 年 7 月 15 日（金）、普代村の普代浜園地に環境省が整備した休憩施設などが開所しました。

南北約 600 メートル、弓状に広がる普代浜一帯（普代浜園地）は、北三陸では数少ない砂浜の海岸で、普代浜海水浴場など人気の観光スポットでしたが、キャンプ場、レストハウスは東日本大震災津波で全壊。同村は「復興の総仕上げ」と位置付け、浜の再整備を進めてきました。

この度整備された園地の愛称は、地元の中学生が考案した「キラウミ」。

園地には、海を目の前にした休憩所やトイレ、シャワー室、あずまや 2 棟、駐車場などが整備されたほか、東日本大震災津波で打ち上げられた大きな石などが展示され、津波の脅威を知ることもでき、観光拠点の整備が誘客をはじめ、地域活性の一役を担うことと期待されます。

普代浜園地「キラウミ」の全景（写真提供：普代村）

海の貴婦人 大型帆船「海王丸」が 25 年ぶりに宮古港へ入港

宮古市

平成 28 年 7 月 22 日（金）、“海の貴婦人” と称される大型帆船「海王丸」が、宮古港に入港しました。

同船は、独立行政法人海技教育機構（JMETS）の練習船として誕生した帆船で、今回は、海上技術学校などの生徒約 100 人を乗せ、25 年ぶり 2 回目の入港となりました。

同船の全長は 110.09 メートル、総トン数 2,556 トン。船の先端には、樹齢 300 年の宮古産の欅（けやき）を使用して制作された「紺青（こんじょう）」と呼ばれる船首像が設置されています。

入港歓迎セレモニーでは、宮古水産高校の生徒による宮水太鼓が披露され、山本正徳宮古市長から渡邉兼人船長に大漁旗がプレゼントされました。

同船は、係留中に帆を張る「セイルドリル」や一般公開など、市民との交流を経て、同年 7 月 26 日（火）に宮古港を出港しました。

入港した「海王丸」（写真提供：宮古市）

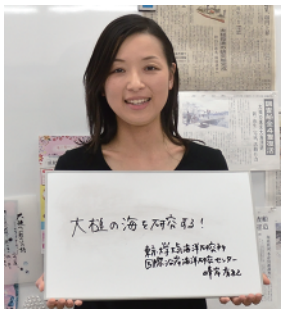
未来のさんりくびと

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第 60 回目は、峰岸 有紀さんを紹介します。

<<< PROFILE >>>

埼玉県出身。
東京大学大学院で生物学の学位を取得した後、博士研究員としてフランス、オランダで 5 年間過ごす。
帰国後、平成 24 年から東北大学大学院で研究員として勤務。
平成 28 年 4 月、大槌町にある「東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究センター」の特任研究員として着任、大槌湾の「サケ」の生態に関する研究を行っている。

東京大学大気海洋研究所
国際沿岸海洋研究センター
沿岸保全分野　特任研究員
峰岸 有紀
（みねぎし ゆき）さん



峰岸さんからのひと言：
大槌の海を研究する！

科学的な研究を通して産業の復興を

海流や海の成分、栄養分、生き物など、沿岸の海に係ること全般を研究する「東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究センター」（大槌町）に勤務する峰岸さんは、生物学の面から “サケ” の研究をしています。

「研究センターの目的は、“基本的な情報を集めること”、科学としての “知見を収集すること” です。大槌町の大きい産業のひとつとして “サケ” がありますが、生き物としても興味深い反面、“サケ” の生態は分かってないことが多くあります。私たちが “サケ” の分布や取り巻く環境などの基礎的な生態系を研究することにより、産業としての “サケ” の復興にもつながると思いますし、ゆくゆくは資源の管理や環境の保全にもつなげていきたいです。」と、峰岸さんは研究のやりがいを話します。

地域に根付いた形で研究を

「東日本大震災津波で建物も被災しましたが、去年からセンターの一般公開も再開し、今年の 7 月には、大槌湾で採れた生き物の展示や海藻を使った押し葉体験など来場者に海に親しんでもらうイベントを行いました。私たちも大槌に根付いた研究をしていますので、これからも街の人との連携や、コミュニケーションを深めていきたいと思います。」と峰岸さん。今後も地域に根付いた形での研究に期待が寄せられます。

岩手県の被害状況

平成 28 年 7 月 31 日現在

▶人的被害　死者（直接死）：4,672 人　行方不明者：1,123 人
▶建物被害（住家のみ、全半壊）　26,075 棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等　いわて防災情報ポータル　検索

皆さんのご支援、ありがとうございます

平成 28 年 7 月 31 日現在

▶義援金受付状況　約 185 億 9 万円（93,626 件）
▶寄付金受付状況　約 197 億 7,855 万円（7,812 件）
▶いわての学び希望基金（※）受付状況　約 85 億 893 万円（18,111 件）

※ 被災したこどもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください !!　http://iwate-fukkoudayori.com

いわて復興だより　第 111 号　平成 28 年 8 月 15 日号　企画・発行：岩手県復興局復興推進課　☎ 019-629-6945
いわて復興だよりバックナンバーは　いわて復興だより　検索　編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 9 月 1 日号の発行を予定しています。